

## 令和4年6月大井町教育委員会定例会 会議録

日 時 令和4年6月15日（水）13時30分～15時00分  
場 所 大井町役場 3階 301会議室  
出席委員 夏莉一壽教育長、牧野誠一郎教育長職務代理者、中條政夫委員、  
小島茂子委員、小嶋真希委員  
出席職員 石井浩二参事兼教育総務課長、内田憲治生涯学習課長、  
山崎良徳社会教育主事  
【書記】曾根英之教育総務課副課長  
欠席職員 大川智也指導主事  
傍 聴 人 なし  
会議内容

- 1 開会 夏莉教育長から開会の宣言をする。
- 2 前会議録の承認 令和4年5月定例会の会議録が承認され、牧野誠一郎教育長職務代理者と中條政夫委員が会議録に署名する。

### 3 教育長の報告

- (1) 教育長の報告 資料により夏莉教育長が説明する。

(要旨)

5月16、17日の全国町村教育長会定期総会・研究大会は3年ぶりに開催され、1日目は定期総会に引き続き、研究大会では東京工業大学副学長の上田紀行氏による記念講演「幸せに生きる若者を育てる 一志・生きる意味・立て直す力」の他、3本の実践報告があった。2日目は文部科学省初等中等教育局企画官の武藤久慶氏から「初等中等教育の今日的課題と動向」についての行政説明があった。

5月18日の西湘地区教育長協議会総会では、昨年度の報告と今年度の計画について協議し、承認された。

5月19日の運動部活動の地域移行に関する検討会議(Web会議)は、現在スポーツ庁で協議されている休日の部活動の地域移行に関して、本検討会議でまとめられた提言案について、教育関係団体から意見を聴取することを目的として開催された。

5月23日の足柄上地区教育長会議では、令和5年度の教科用図書採択について確認し、その後は各市町から情報提供や課題等が話された。

6月3日の校長園長会議では、コロナ対応、事故不祥事の防止の他、今後の園学校のあり方検討での取組、働き方改革に向けた実効性のある経営、中学校部活動における国の動きとその対応、デジタル教科書の検証実証、いじめ問題への対応、不登校等長期欠席児童生徒への対応等について話し、子どもにとって魅力ある園・学校づくりに努めてほしい旨のお願いをした。

6月7日～10日まで開催された大井町議会第2回定例会では11人の議員から一般質問が出され、教育関係は8人からあった。

(2) 各課・給食センターからの報告

- ①教育総務課関係事業報告 資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。
- ②生涯学習課関係事業報告 資料により内田生涯学習課長が説明する。

※令和4年第2回定例会の一般質問「給食費の減免」「図書カードの配付」に関する回答の説明を石井参事兼教育総務課長が行った。

#### 4 議 事

(1) 議決事項

- 議案第8号 令和5年度大井町立小学校及び中学校使用教科用図書の採択方針について  
資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。

【質疑等なし 承認される】

- 議案第9号 大井町立そうわ会館条例施行規則の一部を改正する規則について  
資料により内田生涯学習課長が説明する。

【質疑等なし 承認される】

(2) 協議事項

- 教育委員会の点検・評価について  
資料により石井参事兼教育総務課長、内田生涯学習課長が説明する。

[基本説明等]

- ・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により点検・評価を毎年行い、その結果を作成し、公表するものである。
- ・令和3年度に教育委員会が実施した8施策・26事業を対象に、実績と成果を掲げて5段階の自己評価を行った。

(夏苺教育長)

今回の内容を訂正、加筆し、これに外部評価を併せた後、これからの定例会で完成版を案としてお示しします。

- 令和5年度教科用図書の採択における採択地区について  
資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。

【質疑・意見等なし 承認される】

○大井町立幼稚園・学校の今後のあり方の取組について

①資料により曾根教育総務課副課長が対象園学校について説明する。

(夏苺教育長)

幼稚園及び学校の今後のあり方に関する方向性について、何かご意見はありますか。

(小嶋委員)

3 幼稚園ともに近年収容定員を満たしていないということですが、大井町に住んでいる対象の子どもで定員を満たす人数がいるのですか。それとも、そもそも人数が減っているの、すべての子どもが幼稚園を希望したとしても定員を満たすことができないのですか。

(石井参事兼教育総務課長)

定員については大井町の幼稚園則で定めています。かなり前に制定されたものですが、年少児 1 クラス 25 人、年中児と年長児については 1 クラス 35 人となり、各園では、この倍数で定員が定められています。保育園に行く子、幼稚園に行く子、幼稚園・保育園のどちらにも行かない子がいますが、幼稚園については、現在の定員数で教室の使い方などを全く考慮しなければ、1 園あれば十分希望者を収容できる状況です。3 園含めての定員数と大井町の子ども数を比べると、定員数の方が多くなっているのが現状です。

(夏苺教育長)

収容率という点では相和幼稚園は低くなっています。そこで通園区域を町内全体に広げて、大井小学校区、上大井小学校区の園児も対象にしました。待機児童の課題もあり、それらもクリアーしたく、これまで取り組んできました。しかしながら、現在は年中児がいません。また、年少児と年長児も 5 人ずつとなっています。

このような現状から、「幼稚園・学校のあり方検討委員会」では相和地区におけるこれまでの取り組みに対する総括も含め、将来のあり方についての議論を進めてまいりました。来年度、認定こども園が開設されるので、それらの影響も考えていくべきという意見もありました。

(中條委員)

認定こども園がまだ開設されていない中で、保育園を含めて 3 幼稚園の在り方について考えていくことは難しいのではないのでしょうか。順番として相和幼稚園・相和小学校の在り方をもう一度協議していく中で、認定こども園が開設してから在り方を考えた方がよいのではないかと思います。

(小島委員)

相和地区は大井地区に比べて、少子化が進んでいると思います。相和幼稚園は年中児がいなく、年少児と年長児を併せて 10 人です。相和小学校も町内全域を対象としてい

ますが、全校で 50 名を割っている状況です。相和地区の園学校について考えていった方がよいのではないのでしょうか。

(牧野誠一郎教育長職務代理者)

私も同じ意見です。まずは、相和地区に絞って考えていったらいかがでしょうか。

(夏莉教育長)

小嶋委員も領いていられますので、相和地区の園学校を対象にして検討していくことでよいのでしょうか。

では、今後の定例会の中で、相和地区の園学校の在り方について協議していきたいと思います。

②資料により曾根教育総務課副課長が具体的取組について説明する。

(夏莉教育長)

事務局の案で進めてよいですか。

では、次回の定例会以降、具体的な内容を踏まえて検討していきたいと思います。大井幼稚園、大井第二幼稚園、大井保育園を含めた方向性については次年度以降取り組んでいきたいと考えています。

## 5 その他

○「あいさつ＋ONE 運動」について

資料により内田生涯学習課長が説明する。

○関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会について

曾根教育総務課副課長が説明し、全委員の承認を得る。

○今後の行事等予定について

資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。

(夏莉教育長)

次々回の定例会の日程調整をさせていただきます。8 月 22～24 日頃を考えていますが、いかがですか。

では、8 月 23 日(火) 13:30 開会とします。

次回は 7 月 19 日(火) 13:30 を開催予定としています。よろしくお願いします。

## 6 閉会 夏莉教育長から閉会の宣言をする。